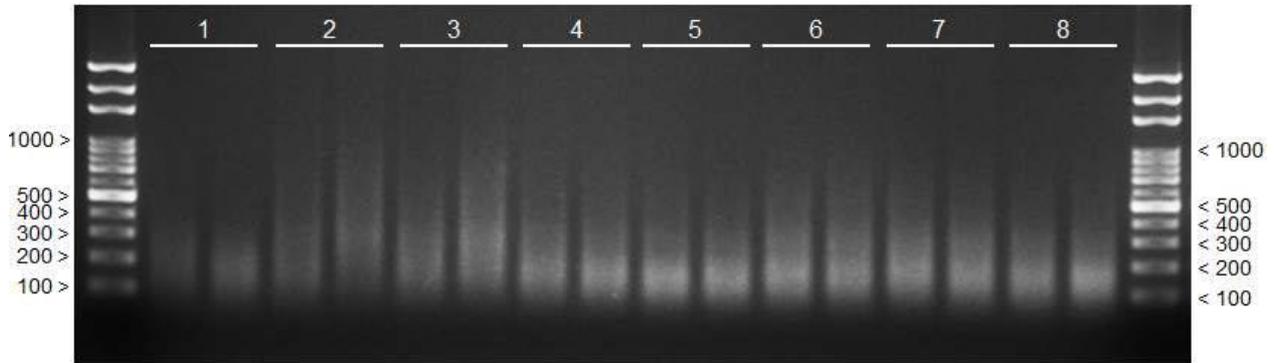


Q800R プロトコル クロマチンの断片化 マウス海馬



Code	Sonicator	Amplitude	On/Off	Total Sonication Time	Quality Notes
1	SLPe probe	50	20s/60s	1 min 20 sec	Probe created a lot more bubbles in 1 st replicate vs. 2 nd
2	Qsonica	20	10s/10s	20 min	65-70 Watts (~8 Watts per tube)
3	Qsonica	20	15s/15s	20 min	65-70 Watts (~8 Watts per tube)
4	Qsonica	20	10s/10s	30 min	65-70 Watts (~8 Watts per tube)
5	Qsonica	30	10s/10s	30 min	120-126 Watts (~15 Watts per tube)
6	Qsonica	30	15s/15s	30 min	120-126 Watts (~15 Watts per tube)
7	Qsonica	40	10s/10s	20 min	178-190 Watts (~22 Watts per tube)
8	Qsonica	40	10s/10s	30 min	178-190 Watts (~22 Watts per tube)

プロトコル

サンプル種 : マウス 海馬
 溶解バッファー : SDS, 1% (Millipore)
 容量 : 100 μ L
 サンプル濃度 : ~25mg
 ホルムアルデヒド濃度 : 1%
 固定時間 : 15 分
 Amplitude : 30%
 パルス : ON 10 秒、OFF 10 秒
 Total On Time : 30 分
 その他処理条件 :

プローブとQ800Rの比較

- プローブタイプ、Q800R のどちらでも、150~200bp のフラグメントが得られました。
- プローブは Q800R よりもパワフルですが、電気泳動の結果は全体的に明るさが少なく、スミアになりました。
- プローブはサンプル間のばらつきがありました。

Q800R について

- 照射時間が最も大切です。Amplitud やパルスに関係なく、照射時間 20 分と 30 分では、顕著な違いが見られます。
- ソニケーションは Amplitude 30% で頭打ちになるようです。40% に上げてても効果は見られませんでした。

お客様の声

- GeneMate 製 0.65mL チューブ（品番：C-3259-1）を使用しました。
- 超音波ホモジナイザーは一定の結果が得られました。
- Q800R は 12 サンプルを一度に処理できます。一方プローブタイプは 1 サンプルずつの処理です。
- 150～200bp のフラグメントが得られました。

原文は[こちら](#)からご覧いただけます。

提供：QSONICA LLC 文責：ワケンビーテック株式会社